

## 映像授業を考える(その1)

2022.5.20(金)

流行に乗っていると時代の最先端をいっているような錯角に陥ります。

東京からずっと離れた地方にいて、東京の超一流予備校の超一流の先生の授業を受講できるなんて、夢のような時代です。

一昔前なら、予備校生は別として、現役生には不可能なことでした。

ということで、現役高校生のとても多くの人がネットで東京の先生の授業を受けています。

毎週、わくわくしながら塾にかよっています。

そうです。地方の塾でその超一流の予備校の超一流の先生の授業を受講できるのです。

時代の最先端の教育を受けています。

ブイラみたいに囲いに閉じ込められて、ただただ画面を眺めつつノートをとり続けているだけなのですが…

ふと顔を上げ、窓の外を見ると、隣の塾で、先生と生徒が楽しそうになにか言い合っているのが見えます…

さて、その窓の向こうの塾です。

塾の先生と1対1で、問題の解き方をめぐって、喧嘩がくがくと討論しつつ学んでいる現役高校生がおります。使っているのは問題集とノートと鉛筆だけです。コンピュータはないです。

生徒A子：「センセッ！、私の解きの方がずっとスマートでしょうが…！」

先生：「ウム…、確かにスマートですがねえ、この問題の最初の条件を無視しているからでしょうが…」

生徒A子：「ウム…、そっか、あたし、今日はなんで頭がいいんだろうな、って不思議に思いながら解いていたんだよねえ。」

先生：「でも、解き方の流れはスマートだよ。点のもらえる答案が書けるようになった。」

ほめられたのか、けなされたのか、よく分からんがうれしそうなA子です…(\*^\_^\*)\

さて、みなさんはどちらのタイプの塾がお好きでしょうか。

数専ゼミは、後のタイプの塾です。

**先生といっしょに学べる数専ゼミの数学教室です。**

### 数専ゼミ・山形東原教室

〒990-0034 山形市東原町二丁目10番8号

TEL: **(023)633-1086** / FAX: (023)633-1094

メールアドレス: [suusen@seagreen.ocn.ne.jp](mailto:suusen@seagreen.ocn.ne.jp)